

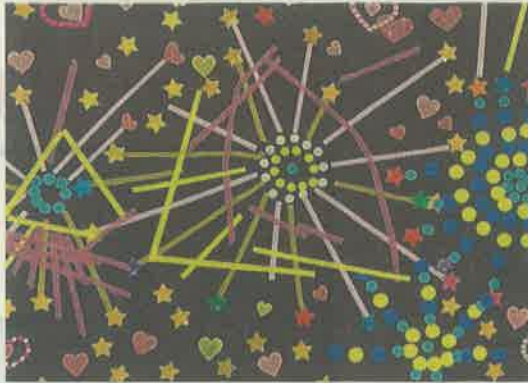
入院中の子の絵 花火に

コロナ禍で各地の花火大会が中止になるなか、入院中の子どもたちが画用紙に表現した花火作品に、プロ音楽家の演奏を合わせて「打ち上げ」をイメージした動画が、動画投稿サイト「ユーチューブ」で公開されている。感染予防のため面会や院内学級が制限されている子どもたちを元気づけようと、福岡市のボランティア団体らが製作した。

福岡市の動画サイト公開

動画のタイトルは「おんばる花火大会」。音楽家たちでつくるNPO法人「OnPar(オンパル)」が、デザイナーらで構成する「元氣アートプロジェクト」と企画した。

九州大病院や福岡市立こども病院、のぞえの丘病院(久留米市)に入院中の小中学生57人が参加した。黒い画用紙を夜空に見立て、金や銀の輝くテープや色とりどりのシールなどを貼って花火を表現。放射状



入院中の子どもたちがシールなどで描いた花火作品

や渦巻き、ハート形など個性豊かにはじける花火のそばに、「たいん(退院)したい。がんばる」「笑顔」といったメッセージも添えられている。フルートやチェロなどによる演奏と、実際の花火の打ち上げ音も交えながら、計57枚の「花火」が一枚一枚、画面いっぱいに映し出される。

オンパルは普段、福岡や熊本、佐賀などの病院を訪ね、長期入院中の子どもたちを対象にした演奏活動や音楽の授業をしている。しかし、コロナの感染拡大で2月を最後に訪問は中止に追い込まれた。

同法人の真隅潔理事長(67)は「生の音楽を届けて子どもたちと交流するのがオンパルの本来の姿」と、当初は動画配信に抵抗があったという。それでも「できるだけ多くの病氣と闘っている子どもたちに音楽を届けたい」と、5月にユー

チューブで「おんばるチャンネル」を立ち上げた。現在は、オリジナルの絵本を元に紙芝居仕立てのミュージカルや、寝ながらでもできる手遊びの動画など、計7本を公開中だ。

運営費は賛助会費や寄付金、助成金などで賄っており、同法人は会員を募集している。問い合わせは真隅さん090(3417)4766。(小林悦子)